

スポーツ健康政策学部

各学科共通部分(基礎資格等)

免許状の種類		所要資格		基礎資格	大学において修得することを必要とする 専門教育科目の最低単位数		
		基礎資格	基礎資格		教科に関する科目	教職に関する科目	教科または教職に関する科目
小学校教諭		1種免許状		学士の学位	8単位	41単位	10単位
保健体育	中学校教諭	1種免許状			20単位	31単位	8単位
	高等学校教諭	1種免許状			20単位	23単位	16単位

免許法施行規則で定める科目

免許法施行規則で定める 科目及び単位数		対応する 授業科目	単位数	備 考
科 目	単位数			
日本国憲法	2	○ 法学	2	各科目とも2単位以上を必ず修得しなければなりません。 また、授業科目欄に○印がついている科目は、教職課程の必修科目です。
体育	2	○ 陸上競技	1	
		○ ボディワーク2 (体操: 体づくり運動、集団行動)	1	
外国語コミュニケーション	2	○ 英語コミュニケーション1	2	
情報機器の操作	2	○ 情報リテラシーI (情報機器の操作を含む)	2	

小学校教諭1種免許状に必要な科目

1. 教科に関する科目

科 目	授業科目	単位数	備 考
国語 (書写を含む。)	○ 国語概論 (書写を含む)	2	授業科目欄に○印がついている科目は必ず修得しなければなりません。
社会	○ 社会科概論	2	
算数	○ 算数概論	2	
理科	○ 理科概論	2	
生活	生活概論	2	
音楽	音楽実習I (ピアノ)	1	
	音楽実習II (歌唱)	1	
図画工作	図画工作概論	2	
家庭	家庭概論	2	
体育	○ 小学体育I	1	
	○ 小学体育II	1	
	○ 小学体育III	2	

2. 教科又は教職に関する科目

科 目	授業科目	単位数	備 考
小1種免	生涯スポーツ論	2	10単位
	スポーツ史	2	
	スポーツ医学	2	
	測定評価学 (実習を含む)	2	
	発育発達老化論	2	
	機能解剖学	2	
	スポーツ教育学	2	

3. 教職に関する教育科目

(平成25年度入学生まで)

科 目	単位数	授業科目	単位数	備 考
教職の意義等に関する科目	2	○ 教師論	2	<p>授業科目欄に○印がついている科目は必ず修得しなければなりません。</p> <p>教科指導法を履修するためには、その教科の概論科目、～科教育法、～実習を修得していることが前提となります。</p> <p>※1 は時間割上取れないなど特別な理由がない限り、必ず履修して下さい。</p>
教育の基礎理論に関する科目	2	○ 教育原理	2	
	2	○ 教育心理学	2	
		○ 教育社会学	2	
教育課程及び指導法に関する科目	2	○ 教育制度論	2	
		人権教育※1	2	
	22	○ 教育課程論	2	
		○ 体育科教育法	2	
		○ 保健科教育法	2	
		体づくり運動指導法	1	
		○ 教科指導法 (国語)	2	
		○ 教科指導法 (算数)	2	
		○ 教科指導法 (理科)	2	
		○ 教科指導法 (社会)	2	
		○ 教科指導法 (生活)	2	
		○ 教科指導法 (音楽)	2	
		○ 教科指導法 (図画工作)	2	
		○ 教科指導法 (家庭)	2	
○ 教科指導法 (体育)	2			
○ 道徳教育指導論	2			
○ 特別活動の本質	2			
○ 教育方法論	2			
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	4	○ 生活指導論	2	
		○ 教育相談の基礎	2	
教育実習	5	○ 事前・事後指導 (小学校)	1	
		○ 教育実習 (小学校)	4	
教職実践演習	2	○ 教職実践演習	2	

(平成26年度以降入学生)

科 目	単位数	授業科目	単位数	備 考
教職の意義等に関する科目	2	○ 教師論	2	<p>授業科目欄に○印がついている科目は必ず修得しなければなりません。</p> <p>教科指導法を履修するためには、その教科の概論科目、～科教育法、～実習を修得していることが前提となります。</p> <p>※1 は時間割上取れないなど特別な理由がない限り、必ず履修して下さい。</p>
教育の基礎理論に関する科目	2	○ 教育原理	2	
	2	○ 教育心理学	2	
		○ 教育社会学	2	
教育課程及び指導法に関する科目	2	○ 教育制度論	2	
		人権教育※1	2	
	22	○ 教育課程論 (小学校)	2	
		○ 教科指導法 (国語)	2	
		○ 教科指導法 (算数)	2	
		○ 教科指導法 (理科)	2	
		○ 教科指導法 (社会)	2	
		○ 教科指導法 (生活)	2	
		○ 教科指導法 (音楽)	2	
		○ 教科指導法 (図画工作)	2	
		○ 教科指導法 (家庭)	2	
		○ 教科指導法 (体育)	2	
		○ 道徳教育指導論 (小学校)	2	
		○ 特別活動の本質 (小学校)	2	
○ 教育方法論 (小学校)	2			
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	4	○ 生活指導論 (小学校)	2	
		○ 教育相談の基礎 (小学校)	2	
教育実習	5	○ 事前・事後指導 (小学校)	1	
		○ 教育実習 (小学校)	4	
教職実践演習	2	○ 教職実践演習 (小・中・高)	2	

1. 教科に関する科目

(平成25年度入学生まで)

科 目	授業科目	単位数	備 考
体育実技	○ 器械運動	1	授業科目欄に○印がついている科目は必ず 修得しなければなりません。 各科目群から1単位以上かつ、 最低修得単位数 20単位 ※1、※2、※3は各 2単位以上 修得しな くてはなりません。 ただし、スポーツ健康政策学科のみ※3は1 単位以上で可。
	○ 水泳	1	
	○ バレーボール	1	
	○ バスケットボール	1	
	○ ハンドボール	各1 ※1	
	○ サッカー		
	○ ラグビー		
	○ ソフトボール・野球	各1 ※2	
	○ テニス		
	○ バドミントン		
	○ ダンス	各1 ※3	
	○ 柔道		
	○ 剣道		
「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学」及び運動学(運動方法学を含む。)	○ スポーツ哲学	2	
	○ スポーツ心理学	2	
	○ スポーツマーケティング論	2	
	○ 現代社会とスポーツ	2	
	○ スポーツと政治	2	
	○ スポーツ政策論	2	
	○ スポーツバイオメカニクス	2	
	○ コーチング学	2	
生理学(運動生理学を含む。)	○ 身体の仕組みと働き	2	
衛生学及び公衆衛生学	○ 衛生学・公衆衛生学	2	
学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。)	○ 学校保健	2	
	○ 学校安全	2	

(平成26年度以降入学生)

科 目	授業科目	単位数	備 考
体育実技	○ 器械運動	1	授業科目欄に○印がついている科目は必ず 修得しなければなりません。 最低修得単位数 20単位 ※1は 1単位以上 修得しなくてはなりません。
	○ 水泳	1	
	○ バレーボール	1	
	○ バスケットボール	1	
	○ ダンス	1	
	○ 陸上競技	1	
	○ ボディーワーク2 (体操:体づくり運動、集団行動)	1	
	○ ハンドボール	1	
	○ サッカー	1	
	○ ラグビー	1	
	○ ソフトボール・野球	1	
	○ テニス	1	
	○ バドミントン	1	
	○ 柔道	各1 ※1	
○ 剣道			
「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学」及び運動学(運動方法学を含む。)	○ スポーツ哲学	2	
	○ スポーツ心理学	2	
	○ スポーツマーケティング論	2	
	○ 現代社会とスポーツ	2	
	○ スポーツと政治	2	
	○ スポーツ政策論	2	
	○ スポーツバイオメカニクス	2	
	○ コーチング学	2	
生理学(運動生理学を含む。)	○ 身体の仕組みと働き	2	
衛生学及び公衆衛生学	○ 衛生学・公衆衛生学	2	
学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。)	○ 学校保健	2	
	○ 学校安全	2	

2. 教科又は教職に関する科目

科 目	授業科目	単位数	備 考
保健体育	生涯スポーツ論	2	中学校 8単位 高等学校 16単位
	スポーツ史	2	
	スポーツ医学	2	
	測定評価学（実習を含む）	2	
	発育発達老化論	2	
	機能解剖学	2	
	スポーツ教育学	2	

高等学校の場合、教科又は教職に関する科目は16単位以上必要ですが、上記の表では14単位分しかありません。不足している2単位については「教科に関する科目」もしくは「教職に関する科目」から2単位分を修得して下さい。

3. 教職に関する教育科目

（平成25年度入学生まで）

科 目	単位数	授業科目	単位数	備 考
教職の意義等に関する科目	2	○教師論	2	授業科目欄に○印がついている科目は必ず修得しなければなりません。 中学校 31単位 高等学校 23単位
教育の基礎理論に関する科目	2	○教育原理	2	
	2	○教育心理学	2	
	2	○教育社会学	2	
		○教育制度論	2	
		人権教育	2	
教育課程及び指導法に関する科目	中12 高6	○教育課程論	2	
		○体育科教育法	2	
		○保健科教育法	2	
		水泳指導法	1	
		器械運動指導法	1	
		バレーボール指導法	1	
		バスケットボール指導法	1	
		体づくり運動指導法	1	
		陸上競技指導法	1	
		○道徳教育指導論	2	
		○特別活動の本質	2	
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	4	○生活指導論	2	
		○教育相談の基礎	2	
教育実習	中5 高3	○事前・事後指導（中高）	1	
		○教育実習（中学校） （高校）	4 2	
教職実践演習	2	○教職実践演習	2	

中学校教諭1種免許状と高等学校教諭1種免許状の両方を取得する場合には、「教育実習（高校）」ではなく「教育実習（中学校）」を修得すること。

(平成26年度以降入学生)

科 目	単位数	授業科目	単位数	備 考
教職の意義等に関する科目	2	○ 教師論	2	授業科目欄に○印がついている科目は必ず修得しなければなりません。 中学校 31 単位 高等学校 23 単位
教育の基礎理論に関する科目	2	○ 教育原理	2	
	2	○ 教育心理学	2	
	2	○ 教育社会学	2	
		○ 教育制度論	2	
		人権教育	2	
教育課程及び指導法に関する科目	中 12 高 6	○ 教育課程論	2	
		○ 体育科教育法	2	
		○ 保健科教育法	2	
		水泳指導法	1	
		器械運動指導法	1	
		バレーボール指導法	1	
		バスケットボール指導法	1	
		体づくり運動指導法	1	
		陸上競技指導法	1	
		○ 道徳教育指導論	2	
		○ 特別活動の本質	2	
○ 教育方法論	2			
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	4	○ 生活指導論	2	
		○ 教育相談の基礎	2	
教育実習	中 5 高 3	○ 事前・事後指導 (中高)	1	
		○ 教育実習 (中学校) (高校)	4 2	
教職実践演習	2	○ 教職実践演習 (小・中・高)	2	

中学校教諭1種免許状と高等学校教諭1種免許状の両方を取得する場合には、単位数が4単位必要となるので「**教育実習 (高校)**」ではなく「**教育実習 (中学校)**」を修得すること。